

# 水道料金値上げストップ！ 広がる市民の声

岡山市は2024年4月に水道料金を平均20.6%上げようとしています。水道会計で足りない額は8年間で281億円、1年あたり35億円です。岡山市の予算の1%分を税金投入すれば、水道料金の値上げを止めることは可能です。水道事業審議会も、値上げ率を少しでも抑える努力を求める提言書を出しました。

また、県広域水道企業団へ毎年固定で支払っている受水費21億円は、見直すべきムダです。買っている基本水量約10万トンのうち約6万トンは、実際には使っていません。

市民の運動が市を動かします。「値上げストップを」の声をさらに広げましょう。

20.6%からどこまで料金改定率を抑えることができるか、議論して決めていきたい。

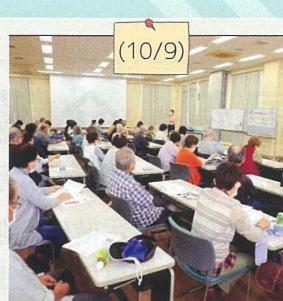
(9月議会答弁)

市長

市の予算の1%分なら、優先順位を考え税金投入してほしい。みんなで声を上げて、市を動かそう！



署名を提出しました



「岡山市の水道料金を考える会」のタウンミーティング

岡山市の水道料金を考える会  
活動の様子は  
こちら

## 見直しなく18年... 聖域化するムダな受水費

水道料金の値上げは前回が18年前で、苦田ダムの水を本格的に買い始めたことが理由でした。この時、生活困窮者の福祉減免も廃止されています。当時の審議会から、余分な受水はしないことや水需要予測を見直すことなど提言されていましたが、市は放置していました。

18年もムダを放置して市民の負担だけ増やすのはおかしい！



田中のぞみ

## 平和の道へ 一步前進



「核兵器禁止条約を批准できる環境を整備することを求める意見書」が、10月13日の9月議会閉会日に全会一致で可決されました。

政府に対して、核兵器禁止条約の批准に向かっていくよう求めたことは、岡山市議会として一步前進です。

### POINT!

#### 【用語解説】 水道事業の独立採算

公営企業法が根拠で、水道事業や下水道事業などは原則、料金収入のみでまかなう独立採算で行うとしています。岡山市は、水道事業に対しては赤字分の税金投入を拒否していますが、下水道事業には行っています。一般会計からの繰り入れは違法ではありません。

#### 岡山県広域水道企業団

県と17市町村で構成する地方自治体の一種で、吉井川と高梁川の水をそれぞれの流域市町村に売るのが主な役割です。岡山市の受水費は、企業団の協定で決められています。

NO.  
297  
2023/11/5

日本共産党岡山市議団

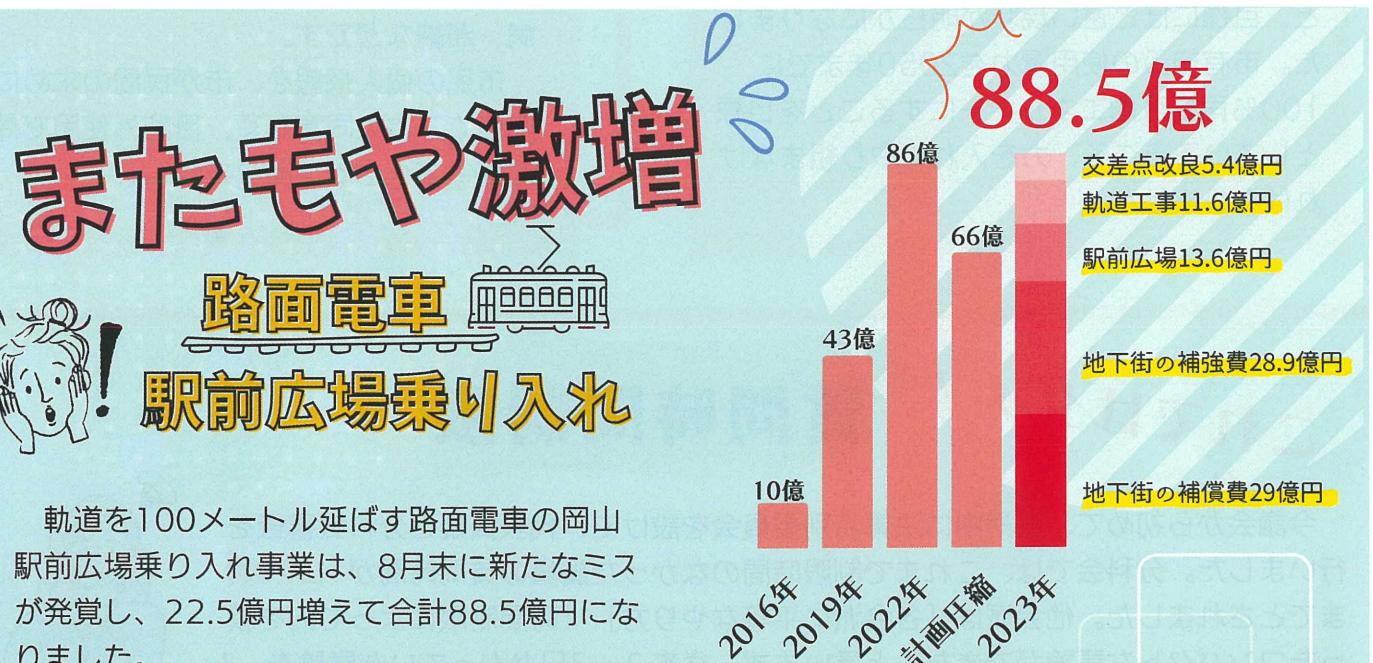
Politics of Okayama City

日本共産党

岡山市議団 news

発行者 日本共産党岡山市議団 岡山市北区大供1-1-1 ☎086-803-1707  
Mail : kyousantou\_shigidon@city.okayama.jp

このニュースは政務活動費でつくっています。



この増額を含む補正予算には、議員の2割にあたる9人が反対しました。反対議員の倍増は異例のことです。（中面参照）

本体の工事は未着手で、地下街の補強工事は24年9月、軌道の工事は25年6月からです。今からでも中止、再考すべきです。



暮らしを支える  
公共交通の充実を！



市民の交通のために他の  
お金の使い方はあります！

ハレカハーフ 2億3500万円  
(バス・路面電車の高齢者・障害者運賃半額割引)

デマンドタクシー 7400万円  
(バスなどがない地域の生活交通。8地区で実施)

(各事業の金額は2022年度決算より)

## 温暖化対策拡充

スマートエネルギー  
補助事業HP



9月議会の補正予算で、住宅用、  
事業用のスマートエネルギー補助  
金が2億8,100万円追加されました。温暖化  
対策を進めるために、家庭や事業者の再生可  
能エネルギー導入を促します。

一方、岡山市の現状は昨年度決算を見る  
と、目標にほど遠い現状が明らかになりました。  
市有施設の使用電力を2050年までに  
100%再生可能エネルギーにすることを目標  
としている市こそ、力を入れて取り組まなければなりません。

## 市民の情報 知らない間に民間へ提供?!

市は、市の保有する個人情報を活用し  
たい民間事業者の提案募集を8月に初めて  
行ない、応募がありました。国の法改定  
に伴ってつくった匿名加工情報の条例によ  
るものです。市が保有する個人情報  
は、例えば国民健康保険では所得、疾  
病、滞納などです。

市民の個人情報を、市が民間の求めに  
応じて、本人同意なく、目的外使用で外  
部提供すべきではありません。

## これではダメ！ 質問時間制限

今議会から初めて、会期中に決算特別委員会を設けて、代表質疑と分科会審査を行いました。分科会では、これまで制限時間のなかった議員の質問時間が1日20分までとされました。他会派は「各会派に平等なやり方」「時間制限によって的を絞ったコンパクトな議論ができた」と言います。従来2~3日かかっていた議論を、1日で終わらせる分科会もあり、議員の発言時間切れで、そもそも審議の出来なかつた案件がほとんどの分科会で発生しました。

9月議会は、実質的に前半と後半に分かれ、前半は通常の議案や陳情の審査と採決が行われました。党市議団は、33件の議案のうち、路面電車駅前乗入事業の増額予算など3件に反対し、水道料金の値上げをやめてほしい、紙の保険証を残してほしい、など3件の陳情の採択を求めました。

後半は2022年度決算の審査と採決で、党市議団は19件の決算関連議案のうち、一般会計、水道事業会計、後期高齢特別会計の3件に反対しました。



やどめ和子

9月議会で賛否の分かれた 主な議案、陳情		結果	共産	自民	公明	創政	森山 川上	中島	みらいえ 鬼木	土田	國友	高成	前島
路面電車岡山駅前広場乗入事業の費用の大額増額に関する補正予算		○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
水道料金を値上げしないように求める陳情(2件)		×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	
紙の保険証を残すことを求める陳情		×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×

森山・川上議員は会派「懐かしい未来」、中島議員は1人会派、※土田議員は1件に反対して1件は退席

## 編集後記

4月の選挙後から、本会議での議員の質問時間が20分から、一括質問は15分、一問一答は10分へと大幅に短縮され、推進した会派のベテラン議員でも本会議で質問が尻切れトンボになったことがありました。委員会での議案審

査には発言の通告制と時間の制限(1日20分)が導入されました。市政の課題やムダづかいなど色々あるのに、追及する時間が全く足りません。議員同士の発言の応酬で議論が深まることもあります。発言の時間や幅を制限することは、市民のための議論の充実に逆行します。

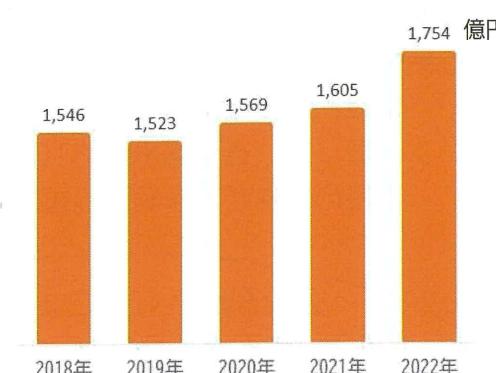
## 岡山市の2022年度決算

### 増える 市債と建設費



2022年度決算が発表されました。約150億円の黒字とのことですが、大森市長になってからの10年で市の借金である市債(通常債)が増加に転じ増え続けています。

普通建設事業費は、10年前と比べて約172億円も増えています。財政は「堅調」と市は説明しますが、これから的人口減少社会で、市税収入が増える見込みについては「楽観視はできない」と答弁もありました。今後、インフラや社会保障の維持・充実の重要性が高まる中、市財政の長期見通しを示すことが必要です。暮らし応援を優先し、不要不急のハコモノ事業は今こそおおもとから見直すべきです。



通常債は残高が増加



## 国保 介護 後期 保険料改定の年

2024年度は、国民健康保険(国保)、介護保険、後期高齢者医療制度の保険料改定が重なる年です。物価高騰が暮らしを追い詰める中、保険料の値上げは大打撃となります。値上げストップの世論を高めましょう。

### 国民健康保険

岡山市は今年度から国保料未納世帯に対する保険証とりあげ(資格証明書発行)を再開しました。コロナの特例対応の終了が理由です。病院窓口で10割負担を求められるため命に関わる事態です。許せません。

国保は毎年保険料を見直します。値上げされれば払いたくても払えない事態が広がります。毎年、引き下げを求める署名が市に提出され、4年間据え置きされました。署名で市民の声を広げましょう。

### 介護保険

9期計画が策定中で、介護保険料の案が11月に示されます。

### 後期高齢

後期高齢者医療制度の広域連合議会に岡山市議会から共産党議員が選出されました。広域連合議会にも陳情の提出が出来ます。

国保値下げ  
署名



安心して暮らせる  
よう社会保障  
の拡充を！



林じゅん

## 11月議会日程

	12/6(水)～11(月)	一般質問
11/21(火)	請願・陳情締め切り	12(火)
27(月)	議会運営委員会	14(木)
30(木)	議会開会日	15(金)
		閉会

毎月第1～第4月曜日夕方に  
法律相談を行っています。  
086-803-1707  
(日本共産党市議団)

無料法律相談

要予約